

第16回埼玉県ディスコン大会結果報告

開催日時：令和5年10月27日（日）13：00～16：30

開催場所：スポーツ総合センターアリーナ

参加チーム：21チーム（1チーム3名編成）

参加人数：競技者63名、スタッフ12名、引率者1名 合計76名

参加費：一人500円

事前準備：スタッフは11時から会場設営の準備を開始した。コートはバドミントンコートのラインを一部利用して7面（5m×10m）造り、エンドライン両側に三角コーンを置いた。得点表はホワイトボードの両面を利用した。

競技方法：予め本部が作成した組合せ、コート割りに従い、全チーム合計4試合を実施。1コートに3チームが入って、各チーム2試合と審判を行い、コートを移動して後半戦の2試合を行った。

1試合13分間の時間制で7点先取。試合結果は勝点制で勝ち点は3点、引分けは1点、負けは0点とし、4試合合計で勝点と同じ場合は得点の多い順、勝点・得点も同じ場合は失点の少ない順で順位を決定した。

大会趣旨：①日頃の練習の成果を発揮する場として、またディスコン愛好者同士の交流の場として、1年に1回ディスコン仲間が一堂に会して順位を競う。

②この大会は第36回埼玉県民総合スポーツ大会の一部として位置づけられ、上位3チームに対し埼玉県知事の表彰状が県から交付された。また、埼玉県レクリエーション協会から3万円の補助金交付も受ける予定。

③オープン大会として、会員外からも参加を募った。

参加チーム：さいたま市7チーム（内、ゆたかカレッジ5チーム）、川口市3チーム、上尾市3チーム、横瀬町4チーム、川越市2チーム、所沢市2チーム、の合計21チーム（内、当協会会員以外6チーム）が参加した。

参加チームは受付終了後、観客席スタンドに荷物を置き、適宜投盤練習を行った。

昼食：予め注文した参加者は、スポーツ総合センターの食堂で、カレーライスの昼食を摂った。（一人700円）

開会式： チーム番号順に整列して、松本事務局長の開会宣言で始まり、大会役員が自己紹介を行った。今回は主審を担当するインストラクター不在のチームが6チーム参加したため、各コートに本部スタッフを1名ずつ貼り付けた。

山田会長から、従来の県大会は午前中から始めて各チーム6試合行ってきたが、今回は午後開始で4試合に変更した旨の挨拶があった。

前回優勝のさいたまチームから優勝カップが返還され、同チームの鷹巣選手から力強い選手宣誓があった。

続いて磯副会長から競技方法について説明があり、今大会のルールは、全日本ディスコンディスコン交流協議会発行の公式ルールブックのルールを採用し、キャプテン及び2番3番の投盤順は本大会中変更できないことや、試合開始時間に選手が揃わない場合の規定等の説明があった。

試合：準備体操の後、各コートに分けて試合を行った。試合開始と終了は、フォイスルに従い全コート一斉とした。

各コートで熱戦が繰り広げられ、ナイス投球やファインプレーに対して歓声と拍手が起こり、チーム同士や地域間の交流も大いに深められた。

表彰式：集計担当の芦田氏から成績発表があり、山田会長から賞品等が授与された。

上位入賞：優勝 上尾2チーム（4戦全勝、得点25点）

優勝チームには、優勝カップ・個人別県知事賞状・賞品が授与された。



準優勝 横瀬Aチーム（4戦全勝、得点24点）



第3位 上尾1チーム（3勝1引き分け、得点19点）



賞品授与：上位3チームの他に5位、7位、10位、15位の飛び賞とブービー賞が授与され、また、全員に参加賞が渡された。

なお、各チームに試合結果集計表が配布された。

閉会宣言：審判長を務めた町田副会長から講評の後、集合写真を撮り散会した。



(山田記)